NPO北丹沢山岳センター ニュース 2014春号

発行日　平成２６年４月１日
発行者　ＮＰＯ北丹沢山岳センター
事務局　神奈川県相模原市緑区小渕１５４５－１
ＴＥＬ０４２－６８７－４０１１
ＦＡＸ０４２－６８７－３９８０
E-MAIL:kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp

～人も自然もいきいき丹沢～

丹沢大山自然再生活動報告会

日　時　平成 26 年２月２日(日) 13：30 ～ 16：30
会　場　ソレイユさがみセミナールーム１
主　催　丹沢大山自然再生委員会
共　催　神奈川県自然環境保全センター

人も自然も いきいき 丹沢

プログラム

13：30		開会
13：30～13：35	1	あいさつ 丹沢大山自然再生委員会　委員長　羽山 伸一
	2	活動報告
13：35～14：00	(1)	清川村における里山再生・『蛍ヶ谷の森』森林整備 神奈川県山岳連盟　松隈 豊
14：00～14：25	(2)	相模原市青根における神の川広河原の植林、下草刈、シカ柵補修 ＮＰＯ法人北丹沢山岳センター　加藤 博恵
14：25～14：50	(3)	相模原市県屋『鳥止めの森』森林整備及び秦野市ヤビツ峠における清掃 町田グラウス山の会　安田 穣
14：50～15：10	3	休憩
15：10～16：20	4	活動報告を聞いて 進行：ＮＰＯ法人北丹沢山岳センター　理事長　杉本 憲昭 ・緑区青根地域振興協議会　関戸 政文 ・ＮＰＯ法人みろくＳＨＯの会　鈴木 茂 ・神奈川大学学士山岳会　落合 正治
16：20～16：30	5	まとめ 丹沢大山自然再生委員会　県民事業専門部会長　久保 重明
16：30		閉会

相模原市青根における神の川広河原の植林、下草刈、シカ柵補修

ＮＰＯ法人北丹沢山岳センター
加　藤　博　恵

ＮＰＯ北丹沢山岳センターの前身は、平成６年に神の川ヒュッテ再開と同時に北丹沢山岳センターとして自然保護活動を主活動として、登山道の整備、美化活動、残骸整理、植林活動等多彩な運動体として設立しました。

このセンターはかって神の川流域に入っていた山梨県、神奈川県、東京都などの山岳会やそのＯＢ達によって創られました。

特に平成６年～平成１１年の５年間は神の川より大室山に至る日陰新道、神の川広河原より金山乗越に至る源三新道（通称佐藤新道）、神の川より地蔵平に至る地蔵新道、神の川林道、折花神社より鐘撞山に至る鐘撞山登山道とかっての４コースの登山道を掘り起し、新道等の整備を行いました。

そして平成１１年には蛭ケ岳山荘の旧山荘の廃材回収等のボランティア活動を行い、平成１２年からはかっての山小屋や避難小屋、伐採小屋などの残骸整理や植林活動を行ってきました。

本日は、私共のこれまでの活動について報告します。

「平成 12 年以降の活動内容」

第１回	蛭ケ岳のボランティア活動	（平成１２年）
第２回	犬超路のボランティア活動	（平成１３年）
第３回	原小屋平のボランティア活動	（平成１４年）
第４回	地蔵尾根伐採小屋跡地ボランティア活動	（平成１５年）
第５回	広河原植林活動	（平成１６年）
第６回	広河原植林活動・ＮＯ２	（平成１６年）
第７回	広河原植林活動	（平成１７年）
第８回	広河原シカ柵、植林、下草刈り、清掃活動	（平成１８年）
第９回	広河原シカ柵、植林、下草刈り、清掃活動	（平成１９年）
第１０回	広河原シカ柵、植林、下草刈り、清掃活動	（平成２０年）
第１１回	広河原シカ柵、植林、下草刈り、清掃活動	（平成２１年）
第１２回	広河原シカ柵、植林、下草刈り、清掃活動	（平成２２年）
第１３回	広河原シカ柵、植林、下草刈り、清掃活動	（平成２３年）
第１４回	広河原シカ柵、植林、下草刈り、清掃活動	（平成２４年）
第１５回	広河原シカ柵、植林、下草刈り、清掃活動	（平成２５年）

ＮＰＯ北丹沢山岳センターの活動によせて

平成２６年３月吉日
ＮＰＯ北丹沢山岳センター理事長　杉本憲昭

ＮＰＯ北丹沢山岳センターの平成２６年度の活動が開始されました。

昨年に相模原商工会議所に加入しましたが、ＮＰＯ北丹沢山岳センターで活動している自然保護活動、山岳スポーツの開催、山小屋等の経営等、全国の多くの人から期待されている事業についてボランティア活動を主軸に多様な活動の充実を務めて行きたいと念じています。

・北丹沢に於ける神の川流域の山開きと合わせ、各登山ルートの雪害等による登山道の調査活動、改修作業を４月に実施します。

・菅根地域振興協議会と共同して神の川ウォークを今年１０月末に再開致します。
　２月の２度にわたる大雪被害として、神の川林道に於いては崩落防止柵が各所で倒壊し、襄丹沢渓流釣場が雪崩で流される被害にあいました。

・１１月には恒例の広河原での植林地での下草刈り、シカ柵の補修作業及び林道の清掃活動を実施します。

・トレイルレースでは、現在神奈川県山梨県東部トレイルラン連絡協議会を軸に傘下の７大会を強化し、日本でのトレイルの新しい飛躍を目指します。

・各山荘、茶屋、駐車場、公衆トイレ等多くの施設を管理していますが、多くの人達が自然を求めて過ごす空間を快適に保ち、それぞれの運営活動を充実させ、内容の強化に努力します。
　蛭ケ岳山荘、神の川ヒュッテ、陣馬山和田峠「峠の茶屋」・駐車場、公衆トイレの請負運営

・神奈川県自然環境保全センターや多くの県・市の行政機関からの相談、協力要請に積極的に対応致します。

これらの活動を支える力は、皆様のご協力に負うところが大きく、ぜひ今後の活動に、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成２６年度北丹沢神の川流域の山開きのご案内

春三月を迎え、いよいよ丹沢山塊の山シーズンが始まります。

恒例の北丹沢の山開きを下記の要領にて開催致しますので、皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

記

1　開催日　平成２６年４月１３日(日)
2　会場地　折花神社　約１時間山開きの記念行事を開催
3　集　合　ＡＭ８：３０分
4　山開き終了後のスケジュール
　神の川林道内及び登山道の点検と清掃活動を実施します。
　実施するコース
　　1　神の川ヒュッテより犬超路にいたる東海自然歩道コース
　　2　神の川ヒュッテより日陰沢新道コース(県境の尾根まで)
　　3　立石建設より鐘撞山～神の川ヒュッテコース
　　4　神の川園地より風巻の頭の姫次コース
　　5　神の川林道　広河原植林地作業チーム
5　その他
　遠方より参加される方に、前日に神の川ヒュッテの宿泊を開放致します。
　但し、副食及び飲み物はご持参下さい。当日の昼食は軽食をご提供致します。
　尚、前日にマキ割りを実施致しますので、ボランティア協力お願いします。

丹沢の自然再生を3団体が活動報告

相　模　原

官民で丹沢の自然再生に取り組む丹沢大山自然再生委員会（委員長・羽山伸一日本獣医生命科学大教授）は2日、相模原市緑区橋本のソレイユさがみで活動報告会を開いた。約80人が参加し、民間の3グループが活動を報告した。

県山岳連盟の松隈豊さんは、宮ケ瀬湖畔の清川村煤ケ谷の山林斜面約8㌶で行っている森林再生活動を紹介。「県の『神奈川森林再生50年構想』に賛同し県の助成を得て2009年から、落ち葉かきや倒木の整理などを進めている。当初は林内に差し込む日光の照度が数%しかなかったが、最近では約20%にアップしてきた」と成果を報告した。

丹沢の蛭ケ岳山荘や北丹沢の神ノ川ヒュッテなどを運営する北丹沢山岳センターの加藤博恵さんは、神ノ川上流の広河原地区で続けているブナやミズナラなどの植林活動について「地面が石だらけで、つるはしで穴を掘って植えている。11年間で約2千本を植え、約2割が育っている」などと苦労を話した。登山団体の町田グラウス山の会からは、ヤビツ峠周辺でのごみ回収作業の様子が報告された。

羽山委員長は「再生委員会は本年度、調査部会を立ち上げた。民間団体も含め、これまでの丹沢大山の自然再生の幅広い取り組みの成果を調べていきたい」などと話した。

（石本　健二）

三つの市民団体などが丹沢の保全活動などを話した丹沢大山自然再生活動報告会＝相模原市緑区橋本